学校番号	3024

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ3 年文	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「精選古典Ｂ　古文編」・「精選古典Ｂ　漢文編」（東京書籍）						
副教材等	「常用国語便覧」（浜島書店）・「体系古典文法」（数研出版）・「新明説漢文」（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・第３学年では、基礎的な文法事項や知識を基に、より高度な文章を読み取る力を養っていきましょう。また、正確な読解に基づき、作品世界の深部に迫る読みを心がけていきましょう。
・教科書のほかにも様々な古典作品に触れる努力を続け、よりいっそう語彙を増やし、先人が積み重ねてきた古典世界から発せられる言葉を自身の力で読み味わう力を培っていきましょう。
・古典作品から人間の普遍的な感情や知恵を学び、自身の人生や物事についての視点をより広く深いものにしてくれることを期待しています。

２　学習の到達目標

・これまで学んできた古典文法・漢文句法・語彙の確認をし、それを用いて作品を正確に読み取る力を養う。
・多くの作品に触れ、それぞれの作品世界を鑑賞する。
・伝統的な言語文化に対する興味関心を深め、人生をより豊かにする態度を育てることを通じて、古典文化を尊重しその魅力を発信できるようになる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察しようとしている。言語文化の特質や関係について理解を深めようとしている。			古典の文章を読み、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉えそれをもとに視野を広げて自己の見識を発展させている。	古典文法や句法・語彙や当時の生活などについて理解を深め、必要な知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び行動の分析 （ワークシート） 定期考査	行動の分析 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随筆	教材: 『十訓抄』 「成方といふ笛吹き」 『徒然草』 「花は盛りに」	○			◎	○	a 内容をふまえて筆者の考え方や古典文化を理解しようとしている。 d 編者の考え方や、筆者の美意識を読み取っている。 e 基本的な文法知識を理解できている。	a; 行動の観察 d･e; 記述の確認、行動の分析、定期考査
	小話・小説	教材; 『十八史略』 「完璧而帰」 『世説新語』 「長安何如日遠」	○			◎	○	a 登場人物の発言の意図を読み取り、話の面白さを味わおうとしている。 d 登場人物の考え方を読み取っている。 e 基本的な句法・語法を理解している。	a; 行動の観察 d･e; 行動の分析、記述の確認、定期考査
	日記	教材; 『和泉式部日記』 「夢よりもはかなき世の中を」 「有明の月に」	○			◎	○	a 平安日記文学の特色を理解しようとしている。 d 作者の立場を理解し、その心情を読み取っている。 e 形の上で紛らわしい語を文法的に識別できている。	a; 行動の観察 d･e;行動の分析・記述の確認、定期考査
	史話	教材; 『十八史略』 「赤壁之戦」 「出師表」	○			◎	○	a 文脈に即して出来事の経過を理解しようとしている。 d 登場人物の言動や心理を的確に読み取っている。 e 基本的な句法や語法を理解している。	a; 行動の観察 d･e; 行動の分析、記述の確認、定期考査
2学期	漢詩	教材: 『詩経』 「桃夭」 『陶淵明集』 「飲酒」 『唐詩選』 「秋浦歌」 『唐詩三百首』 「月夜」 「月下独酌」	○			◎	○	a 漢詩に描かれた人物や情景、心情などを味わおうとしている。 d それぞれの漢詩が表現している内容や情感を理解している。 e 古体詩の詩形の多様性や唐詩の形式について理解している。	a; 行動の観察 d･e; 行動の分析、記述の確認、定期考査

	物語・日記	教材; 『源氏物語』 「車争ひ」 「須磨の秋」 『蜻蛉日記』 「なげきつつひとり寝る夜」	○			◎	○	a 物語の内容を理解しようとしている。 d 登場人物の心情を理解している。 e 基本的な敬語法を理解している。	a; 行動の観察 d･e; 行動の分析、記述の確認、定期考査
	小説	教材; 『陶淵明集』 「桃花源記」	○			◎	○	a 小説に描かれた普遍的な主題を読み取ろうとしている。 d 各場面における登場人物の行動や発言を整理し、話の展開を理解している。 e 基本的な句法・語法を理解している。	a; 行動の観察 d･e; 行動の分析、記述の確認及び定期考査
	評論・物語	教材； 『無明抄』 「出で映えすべき歌のこと」 『落窪物語』 「落窪の君」	○			◎	○	a 筆者の主張や物語の展開を読みとり、自身の考えを深め、感性を高めようとしている。 d 登場人物の人間関係や心情を読み取っている。 E 古典知識や、和歌の修辞法について理解している。	a; 行動の観察 d･e; 行動の分析、記述の確認、定期考査
	史記	教材； 『史記』 「風蕭蕭兮易水寒」 「背水陣」	○			◎	○	a 中国の当時の状況を調べた上で、内容を深く知ろうとしている。 d 話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取っている。 e 基本的な句法・語法を理解している。	a; 行動の観察 d･e; 行動の分析、記述の確認、定期考査
3学期	評論	教材: 『俊頼髄脳』 「鷹狩りの歌」 『正徹物語』 「亡き人を恋ふる歌」	○			◎	○	a 歌論において和歌をどのような点から評価しているか理解しようとしている。 d 和歌に対する評価の内容を理解するとともに、和歌を鑑賞しようとしている。 e 主な歌論を整理するとともに和歌の修辞法を広く理解している。	a; 行動の観察 d･e; 行動の分析、記述の確認

	評論	教材; 『源氏物語玉の小櫛』 「もののあはれの論」	○			◎	○	a 筆者の主張を通して自身の学びについて考えを深めようとしている。 d 叙述内容を整理して、筆者の古典作品についての考えを読み取っている。 e 筆者や「源氏物語」について、理解している。	a ; 行動の観察 d・e ; 行動の分析、記述の確認
	思想・寓話	教材; 『梁恵王上』 「無恒産無恒心」 『兼愛中』 「兼愛」 『欧陽文忠公集』 「売油翁」	○			◎	○	a 思想家の主張を理解しようとしている。 d 表現上の特徴にも注目しながら、内容を的確に読み取っている。 e 基本的な句法･語法を理解している。	a ; 行動の観察 d・e ; 行動の分析、記述の確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c :書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については全ての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域に関わる観点には◎を付けている。